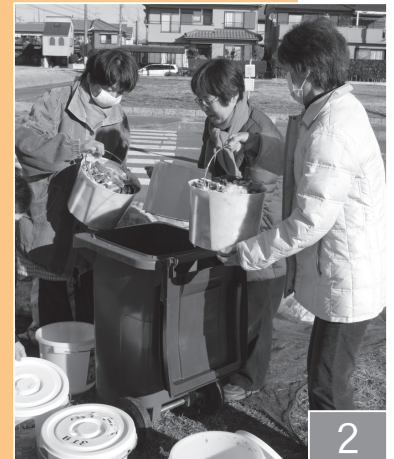


話題 街にひろう



- 1・2. 回収日前日に設置された専用の大型バケツに、当日生ごみを空ける
3. 生ごみが投入された専用の大型バケツ
4. 市の委託業者が専用の大型バケツをトラックに積み込んで、市内養豚場に搬入

刈谷行政区で生ごみ堆肥化モデル事業始まる

1月31日、刈谷町で「生ごみ堆肥化モデル事業」である生ごみの分別回収が行われました。1月20日から実施されているこの事業は、焼却処理している生ごみを分別回収し、堆肥化することを目的として、刈谷行政区で実験的に行われていて、約430世帯が参加しています。

回収される生ごみは、1回当たり約600kg。各集積所に設置された大型バケツに生ごみを投入し、市の委託業者が回収、市内養豚事業所に運び、約3カ月かけて堆肥化されます。この取り組みに参加している方からは「燃えるごみの日と同じ回収日なので、そんなに大変ではない」との感想を聞くことができました。刈谷行政区長の山本武司さんは、「今まで燃やして灰にしていたものを堆肥にすることは、資源が有効活用され、CO₂を減らすことにもなり、環境にやさしい。今後、参加世帯を増やしていきたい」と話していました。

玄葉大臣が市内の農場視察

1月29日、玄葉光一郎国家戦略担当大臣が久野町の農場「モンテローザファーム」を視察に訪れました。この農場は外食大手「モンテローザ」が運営しているもので、市内の休耕地の有効利用を目指すため、市が仲介役となり、平成20年11月から1.9ヘクタールの農地で農業事業を開始したものです。

池辺勝幸市長から説明を受けた玄葉大臣は「この農場は、企業が参入したものに市が積極的に関与している先進的な事例ではないか。農業の担い手不足解消に、市が関わっている事例を見学させていただき、有意義だった」と感想を語りました。



農場内で説明を受ける玄葉大臣(写真中央)

磁石玉を転がして、何点的に当たるかな？ 高得点を狙うぞ



うしくサイエンスフェスタ2011

2月5日、市中央生涯学習センターで「うしくサイエンスフェスタ2011」が行われました。

「カップ大交流会」では、児童・生徒の代表が環境学習の成果を発表。神谷小学校の4年生は、「ホテルが住めるカワセミの里にしよう」のテーマの下に、洪水を防ぐための谷津田の改良や雨水対策の考えを発表しました。児童は「私たちの考えがもっと地域に広がるといいな」と話していました(下写真)。また、多目的ホールなどで行われた「サイエンス・ラボ」では、全18種の科学実験教室が開かれ、多くの家族連れが訪れました。

手作りの紙飛行機。うまく飛ぶかな



多機能型消防車が寄贈されました

2月8日、(財)日本消防協会から牛久市消防団に多機能型消防車1台が寄贈されました。同協会は、(財)日本宝くじ協会の支援を得て、消防団の装備充実と活動の一層の向上を図ることを目的に、多機能型車両配備事業を行っています。今年度は、牛久市を含め、全国で16台が寄贈されました。今回寄贈された多機能型消防車は、北部地区の第18分団に配備される予定です。

寄贈式では、(財)茨城県消防協会の葉梨衛会長が「牛久市は重要な発展をしていることもあり、寄贈先として選ばれた。今後、この車両を活用して、事が起きたときの被害を最小限にしてほしい」と述べました。池辺勝幸市長は「貴重な車両をいただき、感謝します。北部は人口が急増しており、活用したい」と述べました。



寄贈式(上写真)、寄贈された多機能型消防車(下写真)



寄付金は、地域の福祉のために使われます

県立牛久高等学校が寄付

1月31日、県立牛久高等学校が文化祭での売上金の一部を牛久市社会福祉協議会に寄付しました。

この寄付金は、同校の生徒会が「学校と地域との交流、連携を広げていきたい」と企画し、集めたものです。

その他にも同校は、岡田小学校に生徒が出向き、絵本の「読み聞かせ」活動を行うなど、地域との交流を積極的に図っています。生徒会長の佐々木晴香さんは「今後、率先して地域と交流を図り、地域の方々のために貢献していきたい」と話していました。

茨城県国際化推進奨励賞を受賞



牛久市国際交流協会地域交流部会が、「平成22年度茨城県国際化推進奨励賞」を受賞し、2月3日に水戸市の茨城県市町村会館で船越部会長(写真左)がボランティアの代表として出席、表彰を受けました。

この賞は、茨城県の国際化推進に有益な活動を行う個人や団体に贈られるもので、牛久市国際交流協会地域交流部会は、外国人のための日本語教室や世界家庭料理の会の運営における、ボランティアの方々の長年にわたる努力が認められたものです。

外国人による日本語スピーチ コンテスト銅賞受賞

1月29日、県内に住む外国人9カ国15人が参加し、日本語で意見発表する「第20回外国人による日本語スピーチコンテスト」が、水戸市の県民文化センターで開かれました。市からはタイ出身の寺田シリポーンさん(下写真)が出演し、銅賞となる県教育長賞を受賞しました。

寺田さんは、牛久市国際交流協会地域交流部会主催の日本語教室で勉強しています。スピーチでは、タイにはない「日本ならではの」をテーマに表現豊かに発表し、「日本のいいところをタイの皆さんに紹介したい」と話しました。練習からずっと見守っていた日本語教室のボランティアの方々も応援に駆け付け、銅賞受賞の結果を一緒に喜びました。



このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。

あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしくちよっと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp



皆さんのお便りから



南・犬塚さん

短歌・俳句・川柳コーナー

「鬼は外」豆まく親子夕餉どき

田宮 岡村さん

大雪とカイロ燃岳相撲鳥

さくら台 二国さん

ホトトギス今年も来たり梅の花

刈谷町 小山さん

水ぬるむ田んぼの畦でせりを摘む

久野町 酒井さん

冬枯れの野辺に芽生えし露の塔

下根町 藤田さん

伝統のシニアクラブでクロッキー

女化町 のらぼうさん

冬枯れの野に餌求め鳴く鳥の

声も哀れに寒さ一人

桂町 木村さん

久びさの姉と語らうひととき

こたつの温もり心かよわす

正直町 唯根さん

イラスト、俳句、川柳など、毎月たくさんのお便りありがとうございます。紙面の都合上、すべてを掲載できない場合がありますが、今後もたくさんのお便りをお待ちしています。